

平成7年2月24日

いざというときの備えを！

「『広報としま』防災特集号～保存版～」発行

2月26日新聞折込みで豊島区内に全戸配布

豊島区は26日、「『広報としま』防災特集号～保存版～」発行する。

今回発行する「防災特集号～保存版～」は、現在同区や都、国などで進められている防災体制の見直しにあわせて、区民に対し改めて「自分の身は自分で守る」をいう心構えと備えを訴えるとともに、いざという時により早く立ち直る態勢を取れるようにと、各家庭や職場での地震に対する備えを掲載している。

阪神・淡路大震災後に「広報としま」で防災関係の記事が大きく取り扱われるのは、今月5日定例号の日頃の備えのチェックリストを内容とする「大地震に備えよう!」、同15日定例号の同区の災害対策の現況を紹介した「豊島区の災害対策の現況をお知らせします」に続いて3回目。今回発行する特集号では、家具類の転倒防止や電灯などの落下防止、出火防止、避難するときの用意するもの、地震が起きた後の対策、防災用品の紹介、避難場所の紹介や、非常用品、確認しておくこと、防火の心構え、消火の構え、家具類の転倒防止、ひとつひとつチェックできる「わが家の地震対策チェックリスト」、防災に関する相談窓口を掲載している。

同特集号はカラー4頁建てで定例号に比べやや厚めの紙を使用。16万部発行で26日に新聞折込みで同区内の全世帯を対象に配布される予定。

なお同区では、この4月から月1回の割で、「広報としま」に防災関係の記事を掲載していく予定にしている。

問合せ 防災課